

円小学校学校だより

# 個性の花咲く円の郷

令和4年2月号

## タブレットを駆使して…

1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」と言います。年度末の時の流れの速さを表わしています。この言葉のとおり、本年度も残り1か月余りとなりました。いろいろな条件や制約を受けての3学期スタートとなりましたが、子どもたちは元気に学校生活を送っています。今後も感染予防対策を徹底しながら、学年相応の学力や体力を身に付けて進級できるよう教育活動を進めます。



ところで、このコロナ禍により、社会経済活動が停滞したり、医療体制が逼迫したりする状況が続いています。その一方で、自家用車など交通機関の移動が制限され、都市部の空気が浄化されているという話も聞きます。この新型ウィルスが教育現場にもたらしたもの。それは「GIGAスクール構想」の加速度的な推進です。感染の終息が見えない中、タブレットによる遠隔授業の実施がいよいよ現実味を増しています。各家庭の通信環境の整備に向けた事前調査も始まりました。先日、5年生教室でリモート授業を実施しました。青木先生が別室（音楽室）から算数科の授業を行いました。画面越しに学習が進むようすに少し違和感を感じましたが、子どもたちに操作技術等のスキルが整っていれば、十分に可能であることを検証することができました。学校教育の変革を実感するひとこまでした。

ところで、このコロナ禍により、社会経済活動が停滞したり、医療体制が逼迫したりする状況が続いています。その一方で、自家用車など交通

機関の移動が制限され、都市部の空気が浄化されているという話も聞きます。この新型ウィルスが教育現場にもたらしたもの。それは「GIGAスクール構想」の加速度的な推進です。感染の終息が見えない中、タブレットによる遠隔授業の実施がいよいよ現実味を増しています。各家庭の通信環境の整備に向けた事前調査も始まりました。先日、5年生教室でリモート授業を実施しました。青木先生が別室（音楽室）から算数科の授業を行いました。画面越しに学習が進むようすに少し違和感を感じましたが、子どもたちに操作技術等のスキルが整っていれば、十分に可能であることを検証することができました。学校教育の変革を実感するひとこまでした。

## フトゥバ



昨年、奄美大島が世界自然遺産に登録されました。とても嬉しいことなのですが、その一方で、島口は絶滅危機言語の「危険」に分類されているそうです。そこで、フ(2)トゥ(10)バ(8)の語呂合わせで、2月18日を「方言の日」と定め、地区内でさまざまな伝承活動が行われています。本校では、山田先生が島に伝わる2つの諺「言しゃんゆむたや 飲みんきゃならん」「去ちゅん鳥や 後や濁らさん」を紹介して、言葉や美化の大切さについて考えました。

## ようこそ！カ冬さん



今春、本校では2年ぶりに男児2名の新1年生を迎える予定です。先日の体験入学には姫野力冬さんが来校し、学校紹介や読み聞かせ、かくれんぼなど、全校児童で心のこもった「おもてなし」をしました。2年生は下級生ができることを心待ちにしているようすで、お兄さん・お姉さんらしい対応が印象的でした。

## 3月の行事予定

日	曜	行事名等
4	金	学習発表会（参観者：保護者のみ） 家庭教育学級閉講式 全校PTA
9	水	お別れ遠足
25	金	修了式 離任式
26	土	集落PTA合同送別会（未定）

## ありがとうございます



塩害により痛みのひどかったバス停留所横に設置してある小学校の案内板。区長さんや奥村智和さん、佐藤理恵さんのご協力により、見栄えよく修繕していただきました。創立100周年記念石碑にある「つねに前進 今日より明日へ」の文字を書き込んで完成になります。ありがとうございました。

## 円集落は野鳥の宝庫



9月下旬に「秋告げ鳥」として飛来し、温暖な奄美の地で半年過ごしたサシバは、ヒカンサクラが散り始めるこの時期に北へと移動するそうです。一方、自宅周辺では早朝から留鳥の多種多様な鳴き声が聞こえます。そろそろ巣作りが始まるのでしょうか。最近の休日は、集落内を散歩して、見つけた野鳥の撮影を楽しんでいます。ときに癒やされ、ときに励まされ、野鳥たちはさまざまな表情を見せてくれます。

